



プランターで野菜作りを始めてみよう!



# ミニトマト

① 栽培時期 △ 種まき ■ 収穫

|      | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 作型   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 露地栽培 |    |    |    | △  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■   | ■   | ■   |

## ② 準備するもの

- ミニトマト苗 (できれば接木)
- プランター (直径30cm以上 [容量15L以上] の深型)
- 培養土 ● 鉢底石 ● 堆肥 ● 苦土石灰 ● 肥料
- 支柱 (1.2~2m程度のもの) ● 誘引紐 (麻ひもなど)

## ③ 栽培のポイント

- ◆ 石灰を入れないと尻腐れ病が出る恐れがあるので使用した方がよい。
- ◆ わき芽取りは雨の日にすると傷口から菌が入るため病気になるやすい。
- ◆ 接木苗は病害虫に強く、成育旺盛で収穫量が増えやすい。

## ④ 植え付け

- ◆ プランターは事前にきれいに洗っておく。
- ◆ 鉢底石をプランターの底が見えなくなるくらいまで入れる。
- ◆ 培養土を牛糞堆肥と苦土石灰一握りずつ入れ混和し、プランターの8分目まで入れる。(水を入れたときに溢れないところまで入れる)
- ◆ プランターの中心に、苗が入るくらいの穴を掘る。
- ◆ ミニトマトの苗を容器ごとひっくり返して、根鉢を崩さないように取り出し、植え付けをする。
- ◆ 根鉢が土の中にすっぽり入るように植え付けたら、ミニトマトの苗が倒れないように土寄せをし、軽く押さえる。
- ◆ 植え付け後は根を土になじませる為に、たっぷりと水をやる。

## ⑤ 誘引

- ◆ 支柱を立て、茎に麻ひもをかけて、支柱との間で8の字形になるように2~3回ゆるく交差させ、支柱に回してしっかり固定し結ぶ。

## ⑥ わき芽取り

- ◆ わき芽取りは雨の日を避け、晴れた日の午前中に行うと、切口が乾きやすいので、病気になるにくい。

## ⑦ 肥料

- ◆ 化成肥料の場合、1回目の実がピンポン玉の大きさになった時に野菜化成肥料(一握り)を土に混ぜ込む。
- ◆ 肥料を散布する場所は、葉の広がり真下(根の先端あたり)の土に混ぜ込む。
- ◆ 液体肥料の場合、1000倍溶液で水やり代わりにあたえる。(水1Lに液肥1mlを溶かす。)
- ◆ その後3週間くらいに1回、肥料を与える。

## ⑧ 収穫

- ◆ 早朝の涼しい時間帯に、水をやる前に収穫する。
- ◆ 手で無理に引きちぎると果肉を傷めたり、主茎を傷つけて病気の原因となるため、実のすぐ上の茎を消毒したハサミで切る。
- ◆ プランター栽培の場合は最初の実が色づいたら収穫のサインで、完熟した実を早めに収穫すると、長く収穫を楽しめる。